

# 東京港第9次改訂港湾計画に向けた調査検討委員会（第3回）

## 議事概要

### 1 日 時

令和4年12月23日（金）10時00分から11時40分

### 2 場 所

新宿NSビル30F ルーム3・4（オンライン併用）

### 3 出席者

別紙のとおり

### 4 議 事

- (1) 今後の検討スケジュール
- (2) 内貿・在来の検討

### 5 議事概要

- 事務局から今後の検討スケジュール、内貿・在来の検討の内容について説明を行った。
- 委員会に出席した委員から、以下の意見が示された。
  - ・ 東京港は、内貿貨物において非常に重要な魅力のある港である。今後のモーダルシフトや船舶の大型化等による増加貨物に対応するため、新規ふ頭の整備に加えて、既存ふ頭のヤード不足にも方策を講じていくべきである。
  - ・ 内貿貨物のヤード不足について、新規ふ頭の整備には時間がかかるため、暫定ヤードの利用についても積極的に行うべきである。

- 内航船が岸壁に安全かつ効率的に離着岸できるように、考慮してほしい。
- 東京港は、内貿ユニットロードターミナルにおける最先端技術の導入や2024年トラックドライバー不足への対応、カーボンニュートラルポートへの対応など、新たな試みに積極的に取り組んでいくべきである。
- 既存ターミナルについても、最先端技術を活用して効率性をより一層高める取組を進めていくべきである。
- 港湾計画は、概ね10年後を目標とした計画となる。東京港は、非常に期待の高い港であることから、短いスパンでの期待にどう応えていくかという点も重要となる。このため、短期・中期・長期といった施策のスケジュール感も考慮すべきである。
- 貨物量推計については、現在示されている様に、ベース貨物と政策的な貨物とに分けて考慮していくべきである。

以上

東京港第9次改訂港湾計画に向けた調査検討委員会(第3回)

出席者名簿

令和4年12月23日(金)

(敬称略・順不同)

職	区分	氏名	所属・役職	出欠 (代理出席者)
委員長	学識経験者	大脇 崇	公益社団法人日本港湾協会 理事長	出席
副委員長		根本 敏則	敬愛大学経済学部 教授	オンライン
委員		水庭 千鶴子	東京農業大学 地域環境科学部造園科学科 教授	出席
		二村 真理子	東京女子大学現代教養学部 教授	オンライン
		柴崎 隆一	東京大学大学院工学系研究科 レジリエンス工学研究センター 准教授	出席
	港湾利用者	鶴岡 純一	一般社団法人東京港運協会 会長	出席
		山崎 元裕	東京倉庫協会 会長	出席
		宇佐美 和里	一般社団法人日本船主協会 常務理事・企画部長	出席
		多田 正博	日本機械輸出組合 部会・貿易業務グループリーダー	オンライン
		栗林 宏吉	日本内航海運組合総連合会 会長	出席
		黒田 富治	東京湾水先区水先人会 副会長	出席
		福岡 淳一	一般社団法人東京都トラック協会 海上コンテナ専門部会 部会長	出席
		中井 拓志	オーシャンネットワークエクスプレスジャパン株式会社 代表取締役社長	出席
		松川 一裕	株式会社ダイトーコーポレーション 代表取締役社長	出席
	関係官庁	目黒 哲巳	財務省東京税関監視部長	オンライン
		森橋 真	国土交通省関東地方整備局 港湾空港部長	出席
加藤 絵万		国土交通省関東地方整備局 東京港湾事務所長	オンライン	
高橋 信博		国土交通省関東運輸局 交通政策部長	オンライン (藤田 幸也)	
高橋 亮司		海上保安庁第三管区海上保安本部 東京海上保安部長	オンライン (中橋 一郎)	
坂倉 英一		警視庁交通部交通規制課長	出席 (藤平 忠晴)	
オブザーバー	山本 貴弘	国土交通省港湾局計画課 港湾計画審査官	欠席	